

Ⅱ. 研究指定校における取組

研究指定校名 : 白山市立美川中学校

1. 学校の概要

学校名	白山市立美川中学校
学級数	15学級(うち特別支援学級:2学級)
児童生徒数	全児童数:456人(平成30年1月23日現在)
URL	http://sc.city.hakusan.ishikawa.jp/mikawa-j/



美川中キャラクター
ふぐたろう

2. 調査研究のテーマ

(1) 調査研究のテーマ

伝え合い、認め合う生徒をめざして ～自ら考え、共に学び、課題を解決する学習を通して～

(2) 調査研究のテーマを設定した背景

①学校の位置、概要

本校は、石川県の西に位置する手取川河口にある中学校で、北前船の寄港地として繁栄した美川の地は歴史と文化が栄えた町である。今年度、創立68年目を迎え、学区制導入時からの歴史ある学校で、本校の教育に寄せる地域の関心や期待は大きく、同窓会やボランティア団体等の活動や事業が幅広く行われている。しかし、育友会活動においては、学校主導で連携体制が弱い。また、地域の心根は熱いが、言葉遣いが荒い面も見られる。全国学力・学習状況調査の質問紙調査においても「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」生徒は6割以下である。

このようなことから、保護者・地域と連携を図り、互いの立場を尊重しながら関わり合い、自ら考え課題を解決する力を高め、人権教育の視点に立った学校・学級・授業づくりの推進に努めることは、生徒達や教職員だけではなく、家庭や地域を支えていくことにもつながると考える。

②生徒の実態

本校は、平成26年1月に新校舎となり、その歴史と伝統を継承しながらも、採光、機能性などの条件を考え、生徒たちが快適に集中して学習できる環境となっている。456名の生徒たちが生き生きと活動しており、明るく素直で、積極的に学校行事や部活動にも取り組んでいる。

しかし、転入が多いことや、言葉等による傷つけ、インターネットやSNS等を介してのいじめ、不登校や不登校傾向生徒の増加も見受けられ、人権尊重の理念や、子ども・障害のある人・高齢者等の様々な人権課題についての理解を深め、人権感覚を高める必要がある。また、将来の夢や仕事について考えていない生徒も23%と多く、学力については、「課題の内容を理解し、学んだことを文や図などを使ってまとめたり説明したりする」力等に課題が見られる。

このような生徒の実態から、これからの社会を切り拓いていくために「コミュニケーション力」、「創造性」、「情報活用力」、「自律性」等の資質・能力の育成を目指し、これらの資質・能力を基軸とした教育課程における教育活動づくりと見取り・評価が効果的に機能するカリキュラム・マネジメントの在り方を考えていきたい。

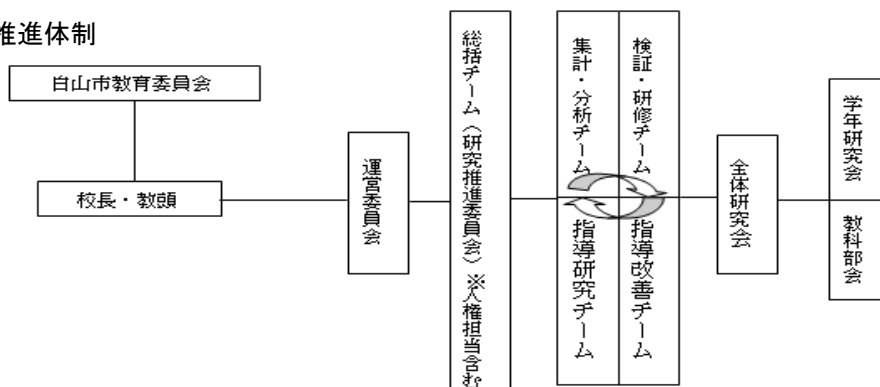
③学校教育目標及び学校研究

「心豊かで自ら学び たくましく生きる生徒の育成」を教育目標とし、教育活動に取り組んできた。平成26・27年度白山市教育委員会から学力向上パイオニア・プラン研究推進校の指定を受け、研究を進め、27年度は、北信越地区学校図書館研究の指定を受け、図書館を活用した授業実践についても、どのような指導方法が効果的であるか、全職員が一丸となって取り組んできた。日々の授業実践の積み重ねにより、生徒達の伝える力の変容を確認しながら取り組むことで、考える場・学び合い・集団解決の場の充実を意識しながら授業を行っている。更に、意図的・計画的に図書館を活用した授業を行うことで、日常的な読書活動と併せて、生徒達の未来に生きて働く力を育み、その成果を十分に得ることができた。全教師がそろえるポイントとして「美中タイムマネジメント+(プラス)」(美川中学校授業モデル)を実践することで、伝え合う力を高める授業づくりを行っている。

しかし、生徒同士の学び合い、教師との関わり合いの中で、話し合いが深まらず、自分の考えを深めたり広げたりするところまで至っていない。生徒アンケートの「自分のよいところを知っている」の項目では、肯定的回答に伸びが見られたものの、まだまだ自尊感情が低い。「自己存在感」、「共感的人間関係」、「自己選択・自己決定」を意識した活動に、さらに継続的に取り組んでいく必要がある。

そこで、様々な教育活動の中で個人の努力目標を設定し、それを達成することで得られる自尊感情の高まりを積み重ねていきたい。また、生徒のよいところや努力しているところを積極的に認め、褒めることを継続し、今後も、学校の教育活動全体を通して、さらに人権に関する知的理解と人権感覚を高める取組を行っていく。

3. 調査研究の推進体制



4. 調査研究の内容等

(1) 調査研究の内容・実施日程

- ①人権教育の視点に立った学校・学級、授業づくりの推進
 - ア. 伝え合い、認め合う生徒を目指して、これまでの研究の成果を踏まえ、更に研究を深めていくために、教科、学級活動、道徳等の研究授業を実施
 - イ. 生徒一人ひとりを尊重した教職員の言動や掲示物等、自分の大切さや他の人の大切さが認められていることを生徒が感じ取ることができるような学習環境を整備
 - ウ. 「学びの作法」を意識し、授業の中で、生徒自身に自己決定する場の設定
 - エ. 「美中宣言」を中心とした生徒一人ひとりが、自己肯定感を高めることができる取組の充実
 - オ. Q-U アンケート、迷惑調査、インターネット等の調査等の実施による状況確認と指導・支援
 - カ. 生徒・保護者・教職員アンケート、学校関係者評価の実施による学校経営と研究推進に向けた評価
 - キ. 「家庭学習週間」の取組を継続し、読書活動を推進することで、学習を支える指導を充実
 - ク. 生徒・保護者を対象とした「生と性の学習会」を開催し、異性や性的少数者者の理解を深め、偏見や差別が解消されるような教育を推進
 - ケ. 集団生活に必要な規範意識やマナー、人間関係を築く力やコミュニケーション能力などの資質・能力を育成するためのキャリア教育を推進
- ②校内推進体制の確立と教職員の研修活動の改善・充実
 - ア. 校長のリーダーシップの下、研究主任及び人権教育担当者を中心とした組織づくり
 - イ. 人権尊重の理念や個別の障害のある人など、配慮すべき人権問題について理解を深めることや、教職員自身の人権感覚を高めること等を目的とした校内研修を計画的に実施
 - ウ. 校内 OJT や外部人材を招いた研修会を実施することで、教職員の資質及び指導力の向上
 - エ. 人権教育に関する資料（道徳資料等）の整備、充実
- ③人権教育の全体計画や年間指導計画の改善・充実
 - ア. 教科等の人権教育に関わる単元を洗い出し、人権教育の全体計画及び年間指導計画の改善、充実
 - イ. 生徒自身が、高齢者や子どもや性的少数者の人権などの様々な人権問題についての知的理解を深め、人権感覚を高めることができるように、「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」を活用した指導内容、指導方法等の工夫と、アクティビティの活用
 - ウ. 小中連携や保護者・地域との連携を図るために、全体計画や年間指導計画等に位置づけ、学力向上連携会議等を実施
 - エ. 道徳の時間のゲストティーチャーや職業人講話等、積極的な外部人材の活用

時期	内 容	備 考
4/3	・教科部会（人権教育全体計画及び年間指導計画の改善、確認）	参加者 35 人
4/4	・校内研修会（校内 OJT）教頭による講義「人権教育の推進のために」	参加者 35 人
4/5	・研究推進委員会（人権教育の推進に向けた研究全体についての協議）	参加者 35 人
	・校内研修会（校内 OJT）教頭による講義・アクティビティの演習 「人権感覚と自尊感情を育てる教師力・学校力」	参加者 35 人
	・校内研修会（講師：白山市教育委員会 齊藤正志 指導主事） 「いじめを見逃さない学校づくり、生徒に伝わる指導の在り方」	参加者 10 人
	・生徒指導部研修会（講師：金沢教育事務所 高松宏晃 指導主事） 「子供の自己有用感を高める指導～どの子にとっても楽しい学校～」	参加者 35 人
4/6	・全体研究会の実施（研究主題、研究の重点、人権教育の視点、具体的取組の確認と各教科の努力目標）	参加者 35 人
4/7	・「美中宣言」、「学びの作法」、「道徳の足跡」の掲示と意識化	全生徒
4/13	・人権集会の開催（図書館司書による絵本「ええところ」読み聞かせ 生徒指導主事による「安心して学べる学校」のプレゼンテーション）	参加者 35 人
4/19	・校内研修会（講師：県教員総合研修センター 中越令 指導主事） 「主体的・対話的で深い学びの実現」についての講義、模擬授業	参加者 35 人
	・全体研究会（全体研究授業、学校訪問、全国学力調査・県基礎 学力調査の分析、学力向上プラン I の確認及び、人権教育の視 点を入れた指導案の形式、美中タイムマネジメントモデル）	参加者 35 人
4/28	・校内研修会 （講師：県教員総合研修センター 高桑しなこ 指導主事） 技術・家庭科授業参観、講義「家庭と家族の子供の成長」	参加者 3 名
5/1	・迷惑調査の実施と個人懇談（毎月実施）	全生徒
5/2	・校内研修会（講師：金沢教育事務所 多村真由美 指導主事） 授業参観、講義「特別支援教育の指導、支援の在り方」	参加者 5 名
5/8	・図書委員会「みんなちがってみんないい」のポップづくり（11/10②）	図書委員
5/9	・家庭学習強化週間① （家庭との連携のための便りの発行、家庭の過ごし方改善プラン作成、 自己肯定感を高める声かけや自学ノートの掲示、学年集会）	全生徒・保護者



校内 OJT 演習の様子



絵本の読み聞かせの様子



道徳の時間の学びの足跡



図書館や各学年のカウンター等の本の展示

5/10

- ・道徳の授業の全クラス公開（授業参観での個別の人権課題の教材の活用と学校便り、道徳便り、HPによる人権教育の事業内容や授業の様子の発信）
- ※1年「おばあちゃんの指定席」-優しい心-（高齢者）
- 2年「軽いやさしさ」-あたたかい人間愛-（高齢者）
- 3年「笑顔のために」-父母への感謝-（視覚障害者）



役割演技をすることで登場人物の気持ちを考える



グループで考えを伝え合う



研究授業整理会での研究の重点についての協議

保護者・地域
約200人

5/16

- ・全体研究授業、指導案検討会、授業整理会の実施（講師：白山市教育委員会 齊藤正志 指導主事）

【本時】	○うまく伝わった例と伝わらなかった例を発表させ、それをヒントにして改善した文章を考えさせる。 ○改善した文章を別のペアで説明させる。
第二	○整理した情報を分類し、目的や相手を意識して、どのような構成で書くかについて自分の考えをまとめていく。 【書く能力】<行動観察・ワークシート>
次	※自分だったら、どう説明されたらわかりやすいかを考えさせる。 ○互いの発言を最後まで聴く習慣や誤答を大切にすることを身に付けさせる。 ○自他の学習課題や解決方法、学習の仕方やまとめ方を振り返って交流する時間を設定し、他者の成果に学ぶとともに、今後の学習課題や方法について選択、決定できる場を工夫する。
1	
時	

- 主な発問
- 深めの発問
- < >学習課題
- 指導 ●評価
- ※評価規準に達していない生徒への手立て
- 人権教育上の配慮

← 国語科学習指導案の単元計画の一部

参加者 35人

5/10

- ・読書指導「みんなちがってみんないい」の本の展示

図書委員
参加者 4人

5/15

- ・校内研修会（講師：県教員総合研修センター 高野真一 指導主事）
学級活動(2)「互いのことをもっと知ろう」研究授業、授業整理会

参加者 4人

5/30

- ・校内研修会（講師：白山市教育委員会 木下貴博 主任指導主事）
数学科研究授業、授業整理会、学級経営についての講義

参加者 35人
参加者 20人
参加者 6人

6/1

- ・教科部会（研究の重点、人権の視点、指導案検討、課題）

6/7

- ・小中連携連絡会議の実施（美川小、蝶屋小、湊小、美川中）

6/12

- ・校内研修会（講師：白山市立東明小学校 紺村由紀子 教頭）
特別支援学級の授業参観、授業整理会、学級経営について等

6/21

- ・Q-Uアンケートの実施①（11/20 ②）

全生徒
参加者 35人

6/22

- ・前期学校訪問（指定授業、全体会、教科部会別の授業整理会、生徒指導部会、生徒指導懇談、特別支援教育懇談、研究主任懇談）

6/26

- ・学校評議員会

学校評議員
1年生 143人
参加者 35人
地域・保護者
60人
参加者 35人

7/4

- ・1年生非行被害防止講座「ピュアキッズ」（講師：白山警察署）

7/5

- ・全体研究会（1学期の取組の振り返り）

7/6

- ・育友会非行防止講座「インターネット利用による人権侵害」（講師：金沢地方法務局、人権擁護委員）

7/7

- ・校内研修会（講師：元東大阪市牧岡東小学校長 神野ちどり 氏）
授業参観、人権教育の指導についての講義

7/11

- ・人権講演会（講師：LITALICO(株)長谷川敦弥 代表取締役社長）
「発達障害の子供たち、みんな同じにならなくていい」

今日の講演を聞いて、改めて「人権」について考えました。ADHD等の障害のある人でもしっかりと社会に出て、立派に働いているという事実や、個性的な人ほど社長に向いているということも初めて知りました。
私は、「たくさんチャレンジして失敗して下さい。」という言葉がとても印象に残りました。私はまだ自分の個性に気付いていない気がします。これからは、人と違った個性を見つけて、その個性を伸ばす努力をしたいです。

7/11~

- ・人権教育指導者養成研修（独立行政法人教職員支援機構）

参加者 1人
3年 148人

7/12

- ・総合的な学習の時間における国際交流（講師：国際交流協会より）
ブラジル、ロシア、中国、アメリカ各国の文化に触れる

7/13

- ・3年生薬物乱用防止教室（講師：白山警察署）

3年 148人
全生徒

7/18

- ・イギリスボストン町の生徒との国際交流（授業や部活動での交流）

7/19

- ・防犯教室「ネットトラブル・ストーカー」（講師：白山警察署）

7/20

- ・スマホ・携帯安全教室、人権教室「SNSの危険性」（講師：金沢地方法務局、NTTドコモ、人権擁護委員）

- ・校内研修会（校内OJT）教頭による講義「考え議論する道徳」

参加者 35人



人権講演会「みんな違う、それでいい、そこからはじまる」



中国の民族衣装を着た生徒



ボストン町の生徒とバスケットボール部の交流



スマホ・ケータイ安全教室
人権教室

<p>7/24 7/26 7/28 7/30 8/21 8/22 8/25 8/28 9/13 9/14 9/15 9/21 9/26 9/29 10/4 10/10 10/11 11/1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の実施（分析から見た改善策の提案） ・若手研修会での模擬授業の実施「教科指導の在り方」（校内OJT） ・校内研修会（校内OJT）教頭による講義「学級活動の指導の在り方」 ・東日本大震災の避難所の再現訓練（講師：仙台市消防庁防災アドバイザー）避難所設営、炊き出し等、防災リーダーとしての意識が向上 ・校内研修会（講師：県教員総合研修センター 徳楽仁 担当課長）「Q-U アンケートを生かした生徒理解と個別支援」講義・演習 ・校内研修会（講師：元東大阪市牧岡東小学校長 神野ちどり 氏）人権教育を意識した授業の在り方の講義・努力目標設定等） ・情報教育研修会（講師：ICT サポーター）授業における ICT の活用 ・体育祭のお知らせ配付（公民館等へのポスター配付・地域の回覧） ・キャリア教育校内研修会（講師：金沢工業大学 白木みどり 教授）講義「今、求められる生徒の資質・能力の育成」 ・全体研究授業指導案検討会学級活動（3）「働くことの意義」 ・道徳教育研修会（校内OJT）指導案検討会 ・全体研究会（学力向上プランⅡ、人権教育の取組の成果と課題、目標設定、学力向上ロードマップの確認） ・研究推進委員会の開催（2学期からの取組の提示、学力向上対策） ・家庭学習強化週間② ・社会科授業での討論「女性と会社の主張はどちらが正しいか」「差別を解消し共生社会を築くために大切なことは何か」 ・校内研修会（講師：白山市教育委員会 小川正清 指導主事）英語科授業参観、指導案検討会 ・「子どもの人権 SOS ミニレター」の取組 ・校内研修会（講師：金沢教育事務所 小橋昌明 指導主事）理科研究授業、授業整理会 ・図書委員によるブックトーク：テーマ「みんなちがってみんないい」 ・学校関係者評価委員会① ・特活部会研修会（講師：白山市教育委員会 山森真紀 指導主事）学級活動研究授業「進路の悩みと上手につき合おう」、授業整理会 ・全体研究授業の実施（講師：金沢工業大学 白木みどり 教授）学級活動(3)題材「働くことの意義」研究授業・授業整理会 ・人権教育推進校視察（羽咋市立瑞穂小学校研究発表会） ・「美中祭」感性のびのびコンサート、俳句、ビブリオバトル等 	 <p>炊き出しをする生徒</p>  <p>人権教育研修会での講義</p>  <p>理科：反応の実験による検証</p>  <p>3年学活におけるSCの活用</p>	<p>保護者・生徒 参加者 7 名 参加者 35 人 地域 220 人 (生徒 15 人) 参加者 35 人</p> <p>参加者 35 人 生徒会 参加者 35 人</p> <p>参加者 5 人 参加者 5 人 参加者 35 人</p> <p>参加者 10 人 全生徒 3 年生 148 人</p> <p>参加者 6 人</p> <p>全生徒 参加者 4 人</p> <p>全生徒 参加者 12 人 参加者 20 人</p> <p>参加者 35 人</p> <p>参加者 3 名 全生徒</p>
<p>11/6</p>	 <p>図書委員会ブックトーク</p>  <p>保健・給食委員会の掲示 「みんな違ってみんないい」「ありがとうメッセージ」</p>  <p>美中祭室長会企画 「最強自慢コンテスト」</p> <p>いじめは、人のささいな気のゆるみから転げ出る非人道的な行動。それを思い切って止められる人間が多いと良い。いじめは、自分もしてしまったことがあって、自分の中の色眼鏡で見てしまっていることが原因だと思う。小さいことから自分を変えていきたい。</p>	 <p>1年学活「ペットボトルの旅」が職業調べに発展</p>	<p>全生徒</p>
<p>11/7 11/8 11/13 11/15</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読書指導「LGBT、障害をテーマにした本」の展示（各クラス等） ・学年別研究会 道徳模擬授業の実施 ・「生と性の学習会」（講師：菜の花助産院助産師）出産の疑似体験 ・保健体育科「競技用の車椅子でバスケットボールの体験」（講師：JAMANEY 石川の選手、白山市社会福祉協議会） <p>車椅子バスケットボールをして感じたことや気付いたことがあります。車椅子は、自分のイメージでは、動きにくそうと思っていたけど、けっこう動いて楽しかったです。このスポーツは、足が不自由でも楽しめることができるのでいいと思いました。自分の身体をありがたく生きようと思います。</p>	 <p>法律の専門家としての人権講話</p>  <p>学年研究会 道徳の模擬授業</p>	<p>全生徒</p> <p>図書委員会 参加者 35 人 1 年 143 人 1 年 143 人</p>
<p>11/17 11/20</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「生と性の学習会」（講師：菜の花助産院助産師）LGBT の理解 ・校内研修会（講師：金沢工業大学 白木みどり 教授）2年道徳研究授業（GT：菜の花助産院助産師）、授業整理会 	 <p>出産の疑似体験</p>	<p>2 年 158 人 参加者 5 人</p>

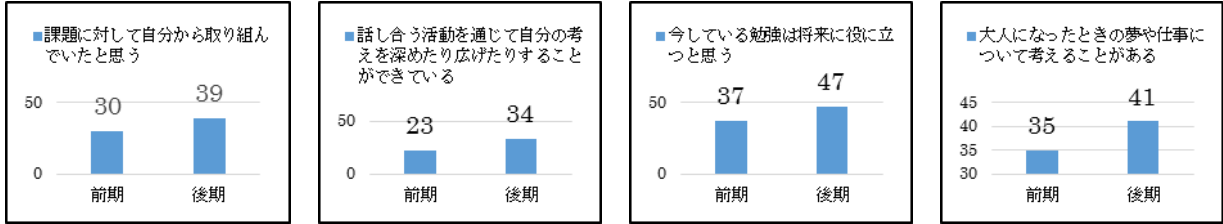
<p>11/20 11/21 11/27</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導研修会（講師：いじめアドバイザー）いじめ事例検討会 ・3年道徳の時間「朝の地下鉄」でのアイマスクの体験 ・後期学校訪問（指定・研究授業、全体会、道徳学年研究会、教科別の授業整理会、生徒指導部会、特別支援教育懇談会等） ※1年「俺は最強だ！」-個性伸張、向上心-（車椅子Basketball選手） 2年「だから歌い続ける」-個性尊重-（LGBT、性同一性障害） 3年「ニュースで討論」-差別や偏見のない社会の実現-（盲導犬） 	 <p>アイマスクの体験（3年）</p>	<p>参加者 20人 3年生徒 参加者 35人</p>
	 <p>GT（車椅子バスケットボール選手、視覚障害の方、盲導犬）との対話</p>  <p>助産師から体験談を聞き自分を見つめる</p>	 <p>心情円盤で登場人物の気持ちを表現</p>  <p>視覚障害の方から意見を聞いて深める</p>  <p>4人グループで考えを伝え合う</p>	
<p>11/28</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「Laugh card 大作戦」～もつべきものは先輩～ 2年室長会によるピアカウンセリング（先輩の悩みに先輩が答える） 	 <p>Laugh card 大作戦の掲示</p>	<p>1. 2年生徒</p>
<p>11/30</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権シリーズ講座（講師：県立看護大学 三部倫子氏） 「違いを生きる親と子～LGBTから親へのカミングアウト～」 		<p>参加者 1人</p>
<p>12/7</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携（学力調査等より各校の実態と課題、「美川っ子6つの約束」の共通実践、学力向上の具体策等についての意見交換） ・人権週間の取組（昼の放送：人権作文「私のお父さん」、「日本のいじめ対策」の朗読、「子どもの権利」についてのアンケート） ・学校評価の実施（分析から見た改善策の提案） 		<p>参加者 6人 全生徒</p>
<p>12/8</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・蝶屋子ども園訪問（家庭科「幼児との関わり方を考えよう」） 	 <p>蝶屋子ども園で園児とダンスをする生徒</p>	<p>生徒・保護者 2年生徒 生徒 40人 参加者 10人</p>
<p>12/14</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の単身の高齢者に対する取組（クリスマスカードづくり） ・研究推進委員会開催（学力向上プランⅢ、取組の振り返り、学力向上ロードマップの進捗状況の確認） 		
<p>12/15</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・H29 石川県教育指導資料の作成（配付先：県内小中学校） 		<p>配付 300部 図書委員会 生徒・保護者 全生徒</p>
<p>1/10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読書指導「災害・防災に関する本」の展示 		
<p>1/11</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習強化週間③」の取組 		
<p>1/17</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地震及び津波の避難訓練（講師：美川消防署、地域の防災士） 災害時における人権に対する認識、避難所の運営の話、会津若松市の避難所における人権作文「たった1秒のありがとう」の朗読 <div data-bbox="231 1467 981 1579" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>東日本大震災から数年経ち、正直なところ私は今日のお話を聞くまでこの大震災のことを忘れていました。美川は海岸から近く、地震で津波が発生したとき多くの被害を受けるので、今日の訓練やお話を忘れないようにしたいです。これから被災者の役に立てることを考えていきたいです。</p> </div>	 <p>単身の高齢者へ Xmas カード</p>	<p>参加者 2人</p>
<p>1/18</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育全体計画及び年間指導計画の改善 ・小平市小平第一中学校研究発表会 総合的な学習の時間：ハンセン病問題、障害者スポーツ（H29 東京都教委 人権教育推進校） 		
<p>1/19</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・台東区立富士小学校視察 授業参観、研究概要説明（H28 文部科学省人権教育研究指定校、全国小学校道徳研究会） 		
<p>1/22</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・救命救急講習会（講師：美川消防署） 		<p>2年生徒 新入生保護者 145人</p>
<p>1/24</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生説明会「親学び講座」（講師：金沢教育事務所 高松宏晃 指導主事） 思春期の理解と関わり方、インターネットによる人権問題等 	 <p>東日本大震災避難所での人権の話</p>	
<p>1/26</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職業人講話（講師：近畿日本ツーリスト社員） 		<p>2年生徒 1年生徒</p>
<p>2/5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職業人講話（講師：救急救命士、理学療法士、美容師、調理師、介護福祉士等） 		<p>配付 70部 参加者 12人</p>
<p>2/23</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究紀要の作成、印刷、配付（配付先：白山市教委、県教委、校内研修会講師等） 		<p>参加者 24人</p>
<p>2/22</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者評価②（人権教育に関する意見交換） 		<p>参加者 10人</p>
<p>2/19</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携連絡会議（管理職、教務、研究主任、養護教諭、特別支援教育コーディネーター） 		<p>参加者 35人</p>
<p>3月上旬</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進委員会の開催（取組の振り返り、学力向上対策） ・全体研究会（次年度の研究の方向性確認、学校教育目標達成の検証） 		

(2) 調査研究の成果と課題

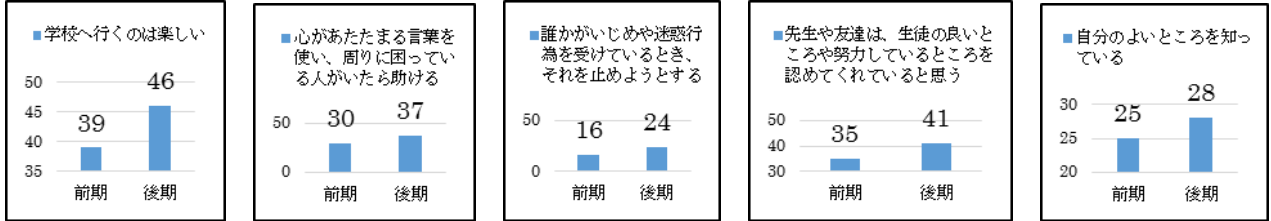
・ 成 果

生徒アンケートの結果より肯定的な評価（A・B）の内、A「よくあてはまる」の割合
 （A「よくあてはまる」、B「まあまああてはまる」、C「あまりあてはまらない」、D「あてはまらない」）

【授業改善について】



【人権感覚の高まりについて】



各項目とも微増ではあるが、効果は表れてきていると思われる。

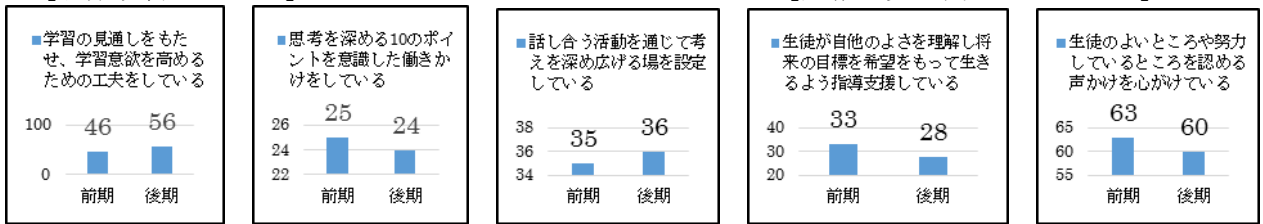
授業改善については、取組前と比べると、大人になったときの夢や仕事について考えるようになり、今、している勉強が将来に役に立つと思いながら学習していることがわかる。また、見通しをもって主体的に学習に取り組み、関わり合いながら考えを広め、深めていると感じている生徒が確実に増えている。

人権感覚の高まりについては、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」という人権尊重の視点に立った授業づくりや様々な人権学習を通して、自尊感情の高まりや互いに認め合う気持ち、相手を思いやる気持ちを醸成することができた。今後も、学校の教育活動全体を通して、さらに人権に関する知的理解と人権感覚を高める取組を行っていく。

・ 課 題

教職員アンケートの結果より肯定的な評価（A・B）の内、A「よくあてはまる」の割合
 （A「よくあてはまる」、B「まあまああてはまる」、C「あまりあてはまらない」、D「あてはまらない」）

【授業改善について】



【人権感覚の高まりについて】

授業改善については、本校研究の重点項目に関する取組についての伸びが鈍く、全教職員が重点項目について共通理解し、さらに意識を高めていく必要がある。

人権感覚の高まりについては、教職員が、生徒のよさを理解し、認め、積極的に声かけをする意識に差がある。また、生徒アンケートの「自分のよいところを知っている」の項目では肯定的回答に伸びが見られたものの、まだまだ自尊感情が低い。「自己存在感」「共感的人間関係」「自己選択・自己決定」を意識した活動に、さらに継続的に取り組んでいく必要がある。様々な活動の中で個人目標を設定し、それを達成することで得られる自尊感情の高まりを積み重ねていきたい。また、生徒のよいところや努力しているところを積極的に認め、褒めることを継続していきたい。

